

年頭所感

平成 1 9 年 新 春
関西商品取引所理事長 岩村 信

平成 1 9 年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げますとともに、旧年中に賜りましたご厚誼に対し心より御礼申し上げます。

近年、社会経済の様々な変化が進む中、商品先物業界は、平成 1 7 年の改正商品取引所法の施行以降、勧誘や取引員の財務面等への規制強化に伴い、商品市場の信頼性は高まるなか、新たなビジネスモデルへの転換が急務となっております。現実には試行錯誤の連続であったと思われませんが、今後の商品先物業界が健全な発展を遂げる上で、その礎となる重要な一年であったと考えています。

関西商品取引所としましては、商品先物業界の低迷が続く中、業界再編を受け入れる形で、昨年 1 2 月に福岡商品取引所と合併を行うに至りました。本所にとってこの合併は変革の節目と捉え、新たな風を巻き起こす契機とすべく、利便性や信頼性の高い、新たな西日本の市場を目指して参りたいと考えています。

さて、本所は、今年の課題として、昨年 3 月に不認可となったコメ市場の開設を目指し、足場固めを図りたいと考えています。

また、機関投資家に資産運用を委託する動きが拡大する最中、有用性のあるベンチマークの提供を念頭に、世界的なエネルギー需要の増大と環境問題の観点から、新エネルギー、投資対象として大きな期待を寄せられているバイオ燃料の市場拡大を見据え、その原料となる農産物等に主眼を置くインデックスの開発検討に着手して参りたいと考えています。

このように取組むべき課題は多々ありますが、役職員上げて、商品先物業界の変化に柔軟に対応し、直面する難局を乗り越え、「創造力のある取引所」として邁進していく所存でありますので、特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方のご繁栄とご健勝をお祈り致しまして、新春の挨拶とさせていただきます。